MSD13-52001
リヤバンパープロテクター

取付・取扱要領書

この度は**リヤバンパープロテクター**をお買い上げいただきありがとうございます。
本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	車　種	グレード	年　式	備　考
MSD13-52001	アクア	全車	'21.7～	

■ 構成部品

No.	品　　名	個数	備　考
①	リヤバンパープロテクター	1	
②	取付・取扱要領書（本書）	1	本書は大切に保管してください

■ 構成部品図

①



②



MODELLISTA

■ 取付け・取扱い上のご注意

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警告　この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意　注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス　スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

⃠ 本製品を適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により重大事故を招く場合があります。
- 本製品への加工、取付不良や誤使用による不具合、事故等につきましては一切の責任を負いません。
- 事故や接触により破損、変形した場合は危険ですので取りはずしてください。

⚠ 注意

❗ 本製品の取付け、交換作業は必ずトヨタの販売店もしくは自動車整備工場で行ってください。

❗ 本製品の取付け、交換は該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

- ●取付前に、取付部を脱脂剤等で汚れ等を除去してください。
- ●ボデー温度（環境温度）20℃以下ではテープの接着力が低下しますので、取付部をドライヤー等で温めて取付けをしてください。
- ●取付後 24 時間以内は洗車を行わないでください。
- ●取付時は、なるべく接着面に触れないように作業を行ってください。
  接着力が弱くなります。
- ●取付部の空気が残ると、熱で膨らんで剥がれの原因となることがあります。
  取付けの際は、中央部から外側に向けて空気を押し出すように圧着してください。
- ●両面テープを貼り付ける部分は、必ず一方向に拭いて脱脂してください。
  脱脂作業を怠ると、両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- ●ボデーコートが塗布されている車両は、塗装用コンパウンドでボデーコートを剥離してください。
  （必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行ってください。）

■ 安全にお使い頂くために

⃠ 購入後の改造は重大な事故や故障を招く危険性がありますので、絶対に行わないでください。

◆本製品は、1 年または 20,000㎞の保証を実施いたします。（1 年または 20,000㎞走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はモデリスタパーツカタログサイト <https://www.modellista.co.jp>「保証について」をご確認ください。

適合車種かつ指定部位以外への取付け及び走行や取扱いにより発生した外的要因が原因の不具合や、それにより車両本体等への損傷が発生した場合のクレームには応じかねます。

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

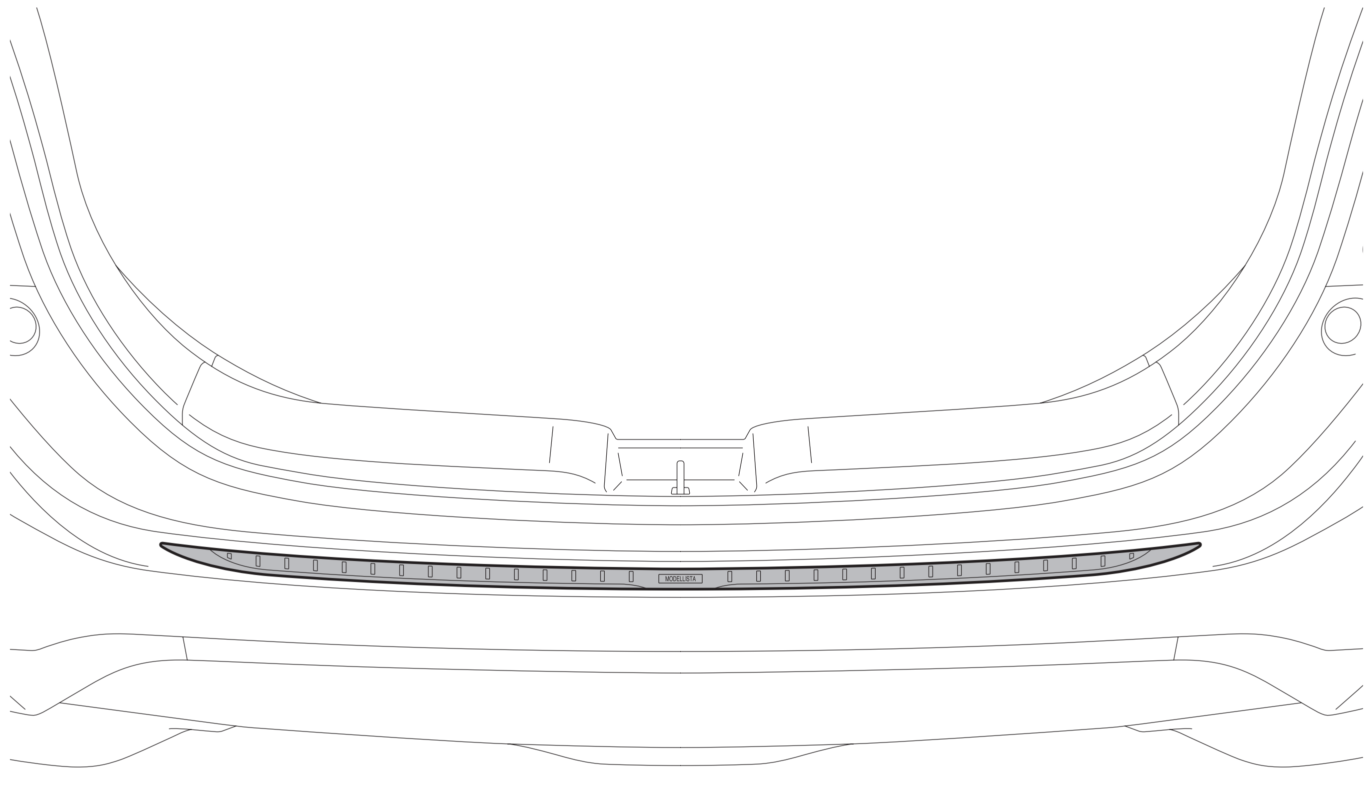
ウエス、脱脂剤（イソプロピルアルコール）、はさみ、マスキングテープ、スキージー、
ドライヤー（20℃以下の場合）

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図、…… 1
2. 取付け・取扱い上のご注意、安全にお使い頂くために …… 2
3. 取付けに必要な工具・保護具・消耗品、目次、取付概要 …… 3
4. 取付要領 …… 4～6
5. 取付完了後の注意事項 …… 6

■ 取付概要

リヤバンパー上面視



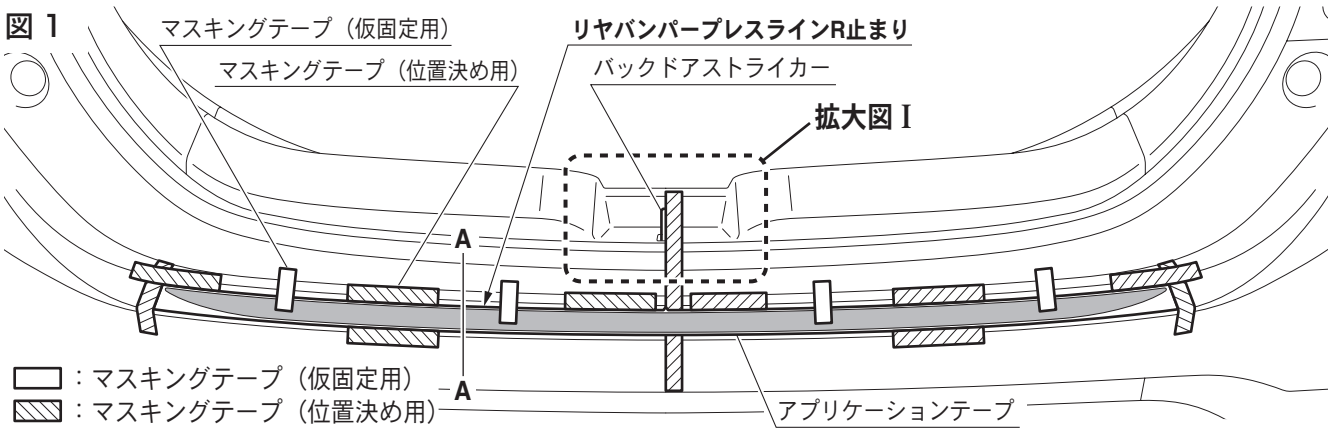
■ 取付要領

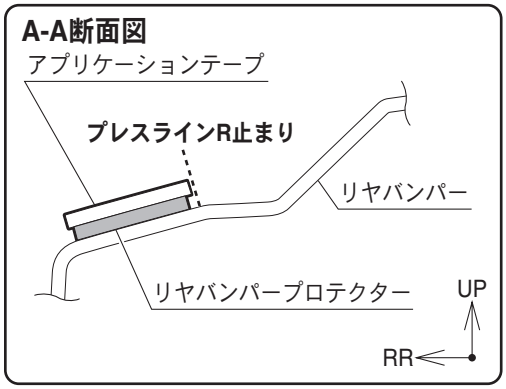
※本書の注意事項を守って作業してください。

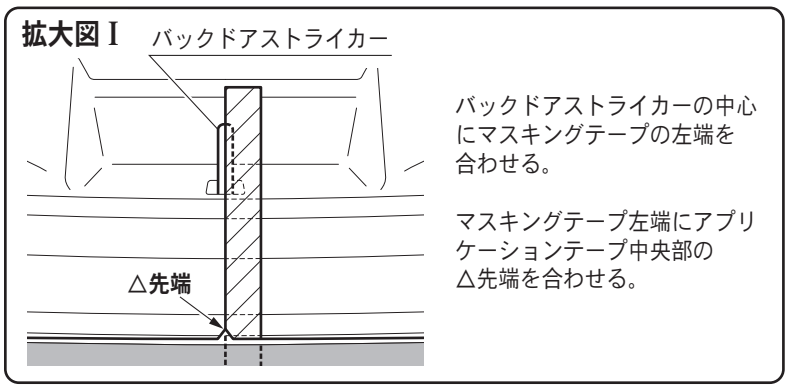
● リヤバンパープロテクターの貼り付け

1. 貼付面を脱脂し、油やほこりを除去する。
2. バックドアストライカーの中心にマスキングテープの左端を合わせ、マスキングテープをリヤバンパーまで貼り付ける。**（図 1、拡大図 I 参照）**
3. アプリケーションテープ中央部の△先端をマスキングテープの左端に合わせる。**（図 1、拡大図 I 参照）**
4. アプリケーションテープ上端をリヤバンパープレスライン R 止まりに合わせる。**（図 1、A-A 断面図参照）**
5. アプリケーションテープをマスキングテープ（仮固定用）でリヤバンパーに仮固定する。**（図 1 参照）**
6. 仮固定したアプリケーションテープの末端（上下左右）に、マスキングテープ（位置決め用）を貼り付け、位置決めをする。**（図 1 参照）**

図 1



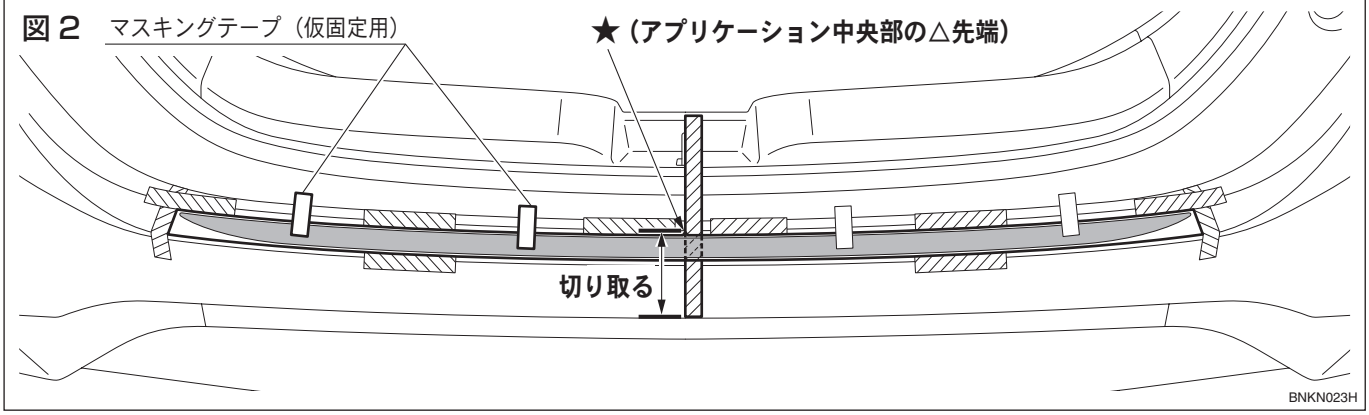




BNKN022H

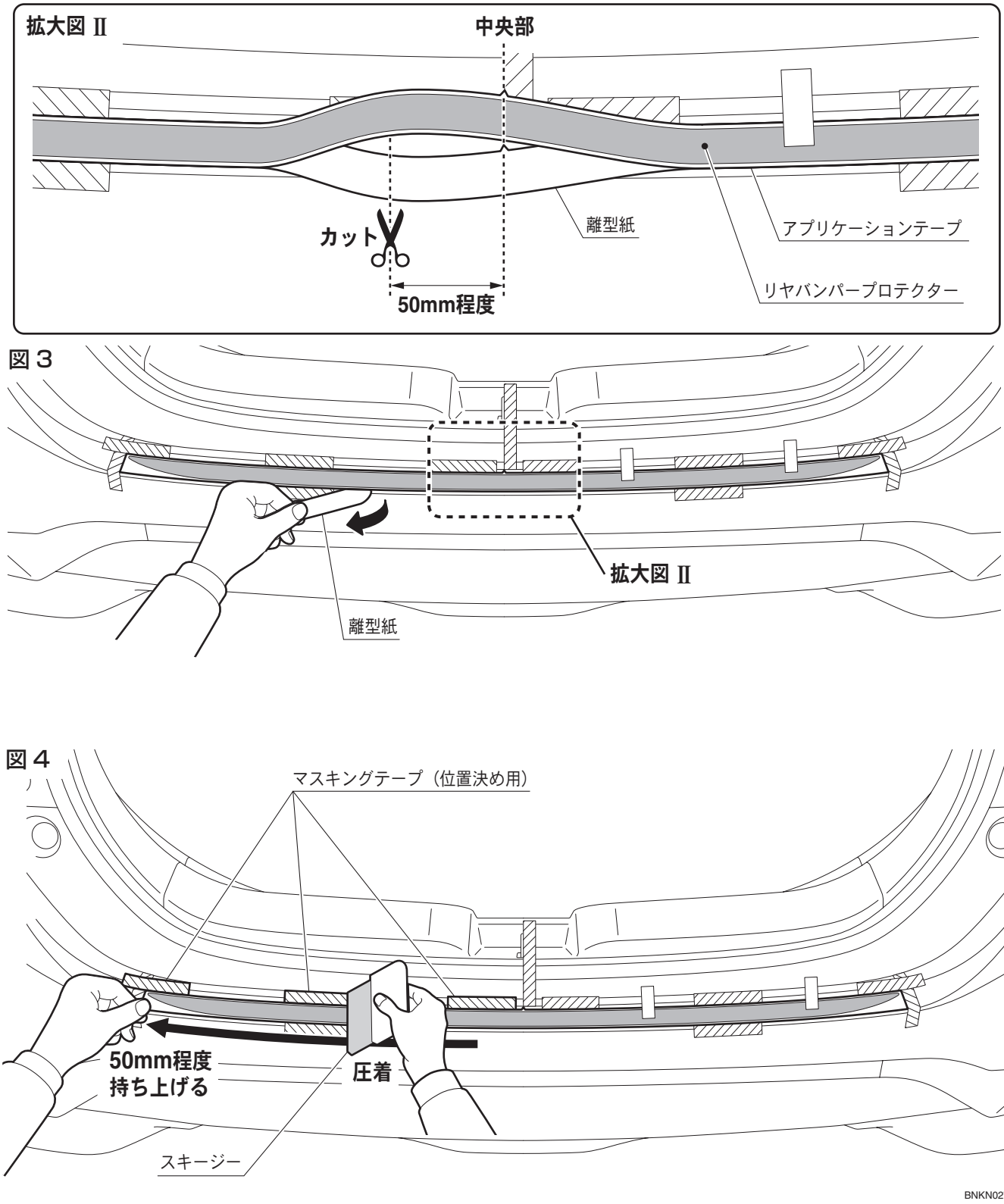
7. LH 側（2 箇所）のマスキングテープ（仮固定用）を剥がす。**（図 2 参照）**
   ※ RH 側（2 箇所）のマスキングテープは剥がさないでください。
8. バックドアストライカーの中心に貼り付けたマスキングテープの★印（アプリケーションテープ中央部の△先端）から下側を切り取る。**（図 2 参照）**

図 2



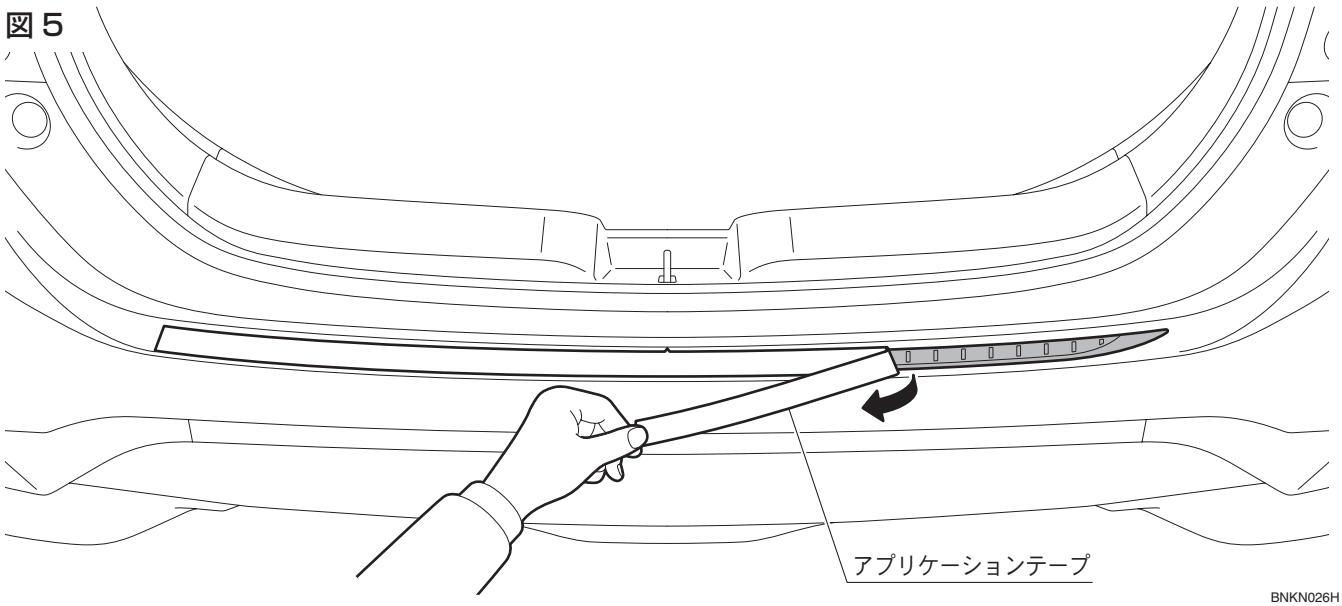
BNKN023H

9. リヤバンパープロテクターの離型紙を、中央部から LH 側に 50mm 程度の位置でカットする。
（図 3、拡大図 II 参照）
10. リヤバンパープロテクター LH 側の離型紙を全て剥がした後、アプリケーションテープ LH 側の末端を持ち、リヤバンパープロテクターをリヤバンパーから 50mm 程度持ち上げる。**（図 3、図 4 参照）**
※リヤバンパープロテクターがリヤバンパーに貼り付かないよう注意してください。
※ RH 側の離型紙は剥がさないでください。
11. アプリケーションテープの末端をマスキングテープ（位置決め用）の端末に合わせながら、スキージーで中央部から LH 側へしっかりと圧着する。**（図 4 参照）**
12. RH 側（2 箇所）のマスキングテープ（仮固定用）と離型紙を剥がし、LH 側と同様に作業を行う。



13. 圧着後、表面のアプリケーションテープをゆっくり剥がす。
※アプリケーションテープを剥がした後、リヤバンパープロテクターの末端に浮きがないことを確認してください。浮きが発生した場合は、柔らかい布等で再度圧着してください。

図５



■ 取付完了後の注意事項

1. 一度取付けたリヤバンパープロテクターを剥がすと、伸びたり接着力が低下しますので、圧着後は剥がさないでください。
2. 取付け後、24 時間以内は洗車をしないでください。剥がれやすくなるおそれがあります。
3. 本書を大切に保管していただくよう、お客様にお渡しください。

株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
「お問合せ先」
モデリスタコールセンター　TEL 050-3161-1000

MODELLISTA

脱脂作業要領書

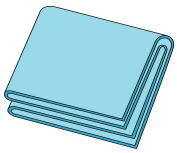
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

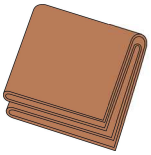
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

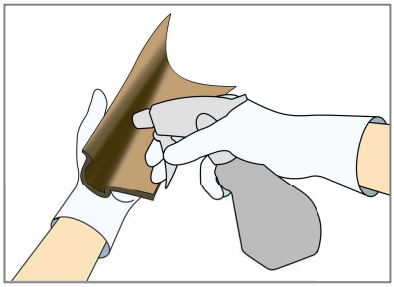

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

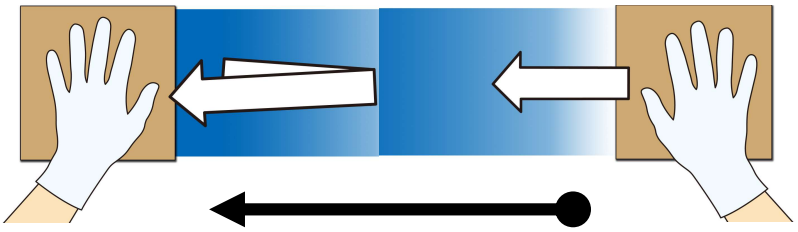


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

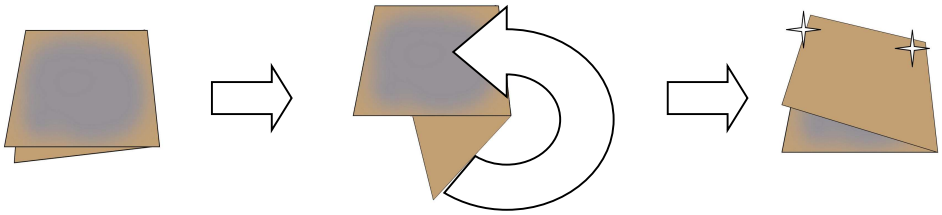
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。